Creative Enzymes®

ヒト由来の活性化フォーカル接着キナーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-0800

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	FAKは、細胞が細胞外マトリックス成分の存在下で成長する際に形成される焦点接着部に濃縮されて見られる細胞質タンパク質チロシンキナーゼです。エンコードされたタンパク質はFAKサブファミリーのタンパク質チロシンキナーゼのメンバーですが、他のサブファミリーのキナーゼとの間に重要な配列類似性はありません。この遺伝子の活性化は、特定の神□ペプチドに□答して引き起こされる細胞成長および細胞内シグナル伝達□路における重要な初期ステップである可能性があります。この遺伝子には、4つの異なるアイソフォームをコードする少なくとも4つの転写バリアントが見つかっていますが、そのうちの2つの完全長の性質のみが決定されています。
別名	焦点接着キナーゼ1; EC 2.7.10.2; FADK 1; pp125FAK; タンパク質チロシンキナーゼ2; FAK; FADK; FAK1; PTK2; FRNK; PPP1R71; p125FAK

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルス、SF9昆虫細胞
EC番号	EC 2.7.10.2
分子量	146.7 kDa
純度	SDS-PAGEによって決定された70%以上。
活性	30°Cで、総タンパク質1mgあたり、ポリ[Glu,Tyr] 4:1基質に72 nmoleのリン酸が転送されました。
濃度	4μg/ml
緩衝液	20mM トリス pH-7.5、10% グリセロール、0.02% トリトン X-100、0.1mg/ml BSA、0.5mM Na3VO4、2mM DTT

保管・発送情報

安定性	全バイアルを1□2週間以内に使用する場合は、4°Cで保管してください。長期間保存する場合は、-20°Cから-80°Cで冷凍してください。複数回の凍結-解凍サイクルを避けてください。